

『VIEW next』高校版・2022年度特集 授業デザインシート

【教科・科目】	総合的な探究の時間
【分野・単元】	課題の設定
【テーマ・作品】	研究テーマの設定・仮説をまとめたワークシート
【単元の目標】	研究テーマ(仮)を決定しよう。仮説を立てよう。

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた 各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の 「学力の3要素」への 分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の 評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの 配慮)	深い学び (教師による思考の活性 化・深化への 配慮)	
1 5/27 (金)	課題設定の仕方についての知識を習得し、ブレインストーミングで課題設定の準備をする。	受信力・知識習得力 課題設定解決能力・論理的思考力 自己肯定力・協働力	「知識」 「思考力」 「表現力」 「主体性」	①「課題設定の仕方」レクチャー Zoom (15分) ②チームでブレインストーミング ・個人で付箋にアイデアを書きだす(5分) ・付箋をもとにA3用紙にアイデアをチームで共有・整理・分析(15分) ・「5W(Who/Why/What/When/Where 2H(How many / How much)シート)」にまとめる(10分) ③Classiポートフォリオに 振り返りを記入 (5分)	時間・場所・立場ごとの軸で比較していく	ブレインストーミング4つのルールを確認 1. 他者のアイデアの批判をしない 2. 質より量 3. 自由奔放な意見も歓迎 4. メンバーのアイデアに便乗してもOK		・ルーブリックに基いた自己評価(中間評価・年度末総合評価) ・年度末の成果発表による他者評価
2 6/10(金)	共有したアイデアをもとに、「5W2Hシート」をまとめ、研究テーマ(仮)を決める。	課題設定解決能力・論理的思考力 自己肯定力・協働力	「思考力」 「表現力」 「主体性」	①「5W2Hシート」の振り返り (10分) ②ワークシート「研究課題 テーマ決定をしよう」をまとめる(35分) 「問い」を考える→「問い」の内容を掘り下げる ③Classiポートフォリオに振り返りを記入 (5分)	「問いを決める基準」を提示する。言葉の定義を明確にする(調べ学習ではないことを強調)	「問い」を掘り下げる際のポイントを確認する。(焦点・対象を出来る限り絞る。具体的に)	5. 過去の取り組みや研究で 1. どの国のどの地域のどの場所の課題か。 2. 課題解決することで幸せになる人は？ 3. その人(もの)たちにどんな問題が生じているか 4. 過去の取り組みや研究でわかっていていることは？	・ルーブリックに基いた自己評価(中間評価・年度末総合評価) ・年度末の成果発表による他者評価
3 6/17(金)	17 Goals Project 企業によるSDGs講義 ①ジェンダー平等に向けた開発支援事業の取り組みと日本のジェンダー平等の状況 ②気候変動とニューノーマル: 私たちの新しい「当たり前」 ③在日外国人の日本で生きるための情報発信の意味 ④阪神・淡路大震災からの27年の活動で見つけた「自分のまちをよくなる仕組み」 ⑤国際医療支援とジャパンハートの活動～あなたが「生まれてよかった」と思える世界のために ⑥考えよう 世界の子供たちの課題とわたしたちにできること ⑦ SDGsとテロ・紛争—ソマリアからのメッセージ ⑧ 「水」が起点になっているさまざまな世界の問題とは？	受信力・知識習得力 論理的思考力	「知識」 「思考力」	①講師による講座(30分) ②質疑応答(10分) ③Classiポートフォリオに振り返りを記入 (5分)	(事前準備) 講義を聞く団体のHPを見て、質問を考えておくように生徒に指示をする。	講義後の質疑応答の時間を有効活用するよう配慮する。	受講した講義を参考にして、考えている研究テーマや研究の進め方の参考にする。	・ルーブリックに基いた自己評価(中間評価・年度末総合評価) ・年度末の成果発表による他者評価
4 7/1(金) 本時	研究テーマ設定と探究方法(リサーチ)の計画	論理的思考力 協働力	「思考力」 「主体性」	①ワークシート「5W2Hシート」「研究課題 テーマ決定をしよう」をもとに、研究テーマを決める。(20分) ②ワークシート「リサーチ計画」に研究テーマ、仮説、リサーチ項目、リサーチ先・方法、実行可能なアクションをまとめる。(25分) ③Classiポートフォリオに振り返りを記入 (5分)	調査手法(文献調査・アンケート・インタビュー調査・実験・現地調査)の確認	生徒が立てた「問い」に対して「なぜ？」の視点をもって向き合うことを伝える。	ポイント 1. 研究テーマが？で終わる問いの形になっているかを確認。 2. リサーチをしたり、研究を深めていく中で、研究テーマが変わっても構わないことを伝える。	・ルーブリックに基いた自己評価(中間評価・年度末総合評価) ・年度末の成果発表による他者評価